

# 2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	社会環境学科	履修者数	2,346
------	--------	------	-------

回答者数	980
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	331 33.8	334 34.1	247 25.2	68 6.9	0 0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.47	544 55.6	361 36.9	62 6.3	7 0.7	4 0.4	978	2
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.39	524 53.5	346 35.3	82 8.4	24 2.4	4 0.4	980	0
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	3.97	313 32.0	405 41.4	186 19.0	61 6.2	13 1.3	978	2

▼学部レベルの質問項目

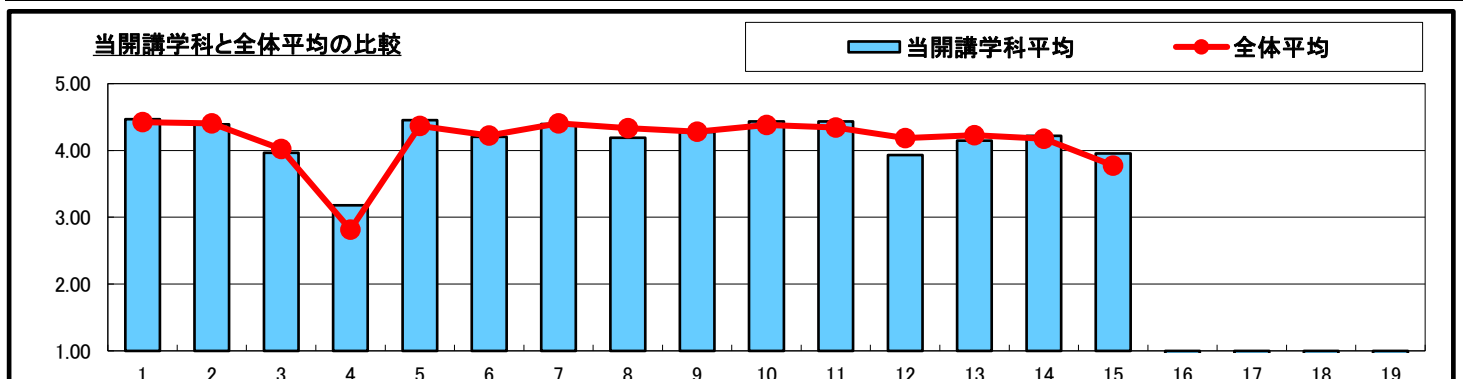
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.18	2時間以上 147 15.0	1時間以上 2時間未満 227 23.2	30分以上 1時間未満 336 34.3	30分未満 193 19.7	全くして いない 76 7.8	979	1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.45	537 54.9	367 37.5	58 5.9	15 1.5	2 0.2	979	1
6	この科目の難易度は適切であった	4.20	432 44.2	377 38.5	116 11.9	42 4.3	11 1.1	978	2
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.40	515 52.8	355 36.4	88 9.0	14 1.4	4 0.4	976	4
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.19	414 42.3	388 39.6	136 13.9	33 3.4	8 0.8	979	1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.28	492 50.4	317 32.4	124 12.7	34 3.5	10 1.0	977	3

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.43	549 56.1	334 34.1	72 7.4	20 2.0	4 0.4	979	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.44	553 56.7	325 33.3	72 7.4	19 1.9	6 0.6	975	5
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	3.93	357 36.5	327 33.5	192 19.7	71 7.3	30 3.1	977	3
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.15	401 41.0	382 39.1	144 14.7	38 3.9	13 1.3	978	2
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.22	465 47.4	327 33.4	139 14.2	37 3.8	12 1.2	980	0
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.95	十分に 読んだ 292 29.9	よく読んだ 460 47.1	どちらとも いえない 136 13.9	ほとんど 読まなかった 66 6.8	全く読んで いない 23 2.4	977	3

▼学科設問

16		-	0	0	0	0	0	0	980
17		-	0	0	0	0	0	0	980
18		-	0	0	0	0	0	0	980
19		-	0	0	0	0	0	0	980



## 2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	社会環境学科
講評者	社会環境学科長 河本尋子

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	学修環境やクラス規模などに関しては、良好な評価が大半を占めていました。一方で、周囲の学生の学習意欲に関する項目では、例年の回答傾向に重なりますが、やや評価が低下するものの、過半数は肯定的回答でした。現在の学修環境については、現状の維持・向上を目指しながら、特に大学全体の平均と比較してやや下回る項目については、今後において学生の興味・関心を引き出す授業づくりが重要と考えます。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	授業時間外の学修については、大学全体の傾向と比較して、本学部の学生はより多くの時間をかけて授業に取り組んでいる様子が明確に表れていました。また、科目の難易度や、学びを深めるうえで有益かといった点に関しても、大学全体と比べると若干低くなりますが、本学部の平均は概ね高い傾向と捉えております。キャリア形成に関連する項目では、本学部カリキュラムの特徴の影響が考えられますが、概ね良好な評価であったと捉えられます。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	教員の話し方や、板書・スライド・配布資料については、多くの学生から良好な回答が得られていました。しかしながら、受講態度への注意や、学生の質問や意見を求める等の授業への主体的な参加を促す取り組みについては、さらに実現・充実させる余地があるようです。無論、受講者数や授業の性質等を踏まえて対応は異なりますが、学生自身の主体的取り組みにつながる時間を設定する工夫が求められるかと考えます。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	該当なし